沖縄県では平成30年度海外ジョブチャレンジ事業において、アジアを中心に海外企業での就業体験等を実施することにより、国内外へ就業機会を自ら獲得する「積極性とチャレンジ精神」を醸成するため、以下の海外インターンシップを実施します。多くの学生の応募をお待ちしております。

募集要項

語学力不問

海外短期インターンシップ

対象	期間	派遣者数（予定）
1～3年生他	10日間程度	合計96名

対　　象 県内大学生、短期大学生、専門学校生、高等専門学校生。語学力不問。

派遣期間 ①夏 期 平成30年8月26日（日）～9月4日（火）
②春 期 平成31年2月24日（日）～3月5日（火）

研修内容 就業体験、現地学生交流、日系企業訪問、県人会、フリーリサーチ等

海外中期インターンシップ

対象	期間	派遣者数（予定）
2～3年生 他	1ヶ月 程度	合計10 名

対　　象 県内大学生、短期大学生、専門学校生、高等専門学校生。
日常会話程度の語学力を有する者。

派遣期間 ①夏 期 平成30年8月～9月中旬
②春 期 平成31年2月～3月中旬
（上記期間内、1ヶ月程度）

研修内容 1ヶ月の就業体験

派遣先 ❶ 台湾 ❷ 香港 ❸ ベトナム［ホーチミン・ダナン］ ❹ マレーシア ❺ シンガポール 等

※派遣国で事件、事故、災害等が発生した場合、派遣の中止、変更及び研修中の帰国もあります。

夏期募集		春期募集	
受付期間	平成30年 5月14日（月）～ 6月15日（金） 17時まで	受付期間	平成30年 11月1日（木）～11月30日（金） 17時まで
事業説明会	平成30年 5月30日（水）・31日（木） 6月 4 日（月）・ 5 日（火）	事業説明会	平成30年 11月14日（水）・15日（木） 19日（月）・20日（火）

場 所：琉球大学 産学官連携棟 2F　　時 間：18:30～（各回共通）　全学生対象　他の大学も参加OK!

現地宿泊費補助

研修派遣国では、日本人スタッフが研修をサポートするので安心です。※食費・渡航費等は自己負担となります。

■応募方法
ホームページから直接エントリーして下さい。エントリーできない場合は事務局にお問い合わせ下さい。

エントリー先　kaigai-job.com　海外ジョブチャレンジ

ホームページ　Facebook

■お問い合わせ　【営業日】月～金（9:00～12:00 / 13:00～18:00）　【休日】土日祝日・年末年始
海外ジョブチャレンジ事務局　［（株）沖縄ヒューマンキャピタル内］ TEL.098-895-1702 FAX.098-917-0025
【運営:（株）沖縄ヒューマンキャピタル・（株）日本旅行沖縄・（株）サン・エージェンシー】　info@okinawa-hc.com

沖縄県があなたの海外インターンシップを応援します！ 本事業は沖縄県による事業です。

沖縄県商工労働部雇用政策課

平成30年度「沖縄若年者グローバルジョブチャレンジ事業（海外ジョブチャレンジ事業）」
［沖縄振興特別推進交付金活用事業］

沖縄県商工労働部雇用政策課

夢へ向かって、一歩踏み 出せ!!

行政訪問

学生交流

職場体験

県人会交流

フリーリサーチ

会社訪問

海外インターンシプとは、県内大学生、短期大学生、専門学校生、高等専門学校生を対象に、アジアを中心に事業展開を行っている日本人経営者等の下で、短期インターンシップ（9泊10日）及び中期インターンシップ（1ヶ月）の就業体験等を行うプログラムです。

海外短期インターンシップでは、積極性やチャレンジ精神を醸成、海外中期インターンシップでは、海外ビジネスや異文化を学び、将来は、沖縄県の発展に貢献できるグローバル人材の育成を目的としています。

グローバル人材の育成

2〜3年次
中期
（海外ビジネス・異文化理解）

1〜3年次
短期
（積極性・チャレンジ精神の向上）

※学生の年次は、インターン参加時の年次を記載しています。

H24~H29 年度実績

海外インターンシップ派遣者数 746名

海外短期インターンシップ派遣者数 722名　海外中期インターンシップ派遣者数 24名

主な派遣先（実績）

派遣先は、観光業・IT・物流など
業種・職種は多岐にわたります。

ベトナム

ホーチミン／ダナン

真面目で勤勉、向上心の高い国民性が評価され、現在のベトナムは人財の宝庫と言われ、世界中から多くの企業が進出しています。

シンガポール

急激な経済成長が予測されるアジア諸国のハブとしての機能を有するため、世界中から多くの企業が進出しています。

マレーシア

安定した経済成長が見込め、天然ガスなどの資源にも恵まれているため、東南アジアの優等生と評価され、継続的な投資により将来性が有望視されています。

香港

古くからアジアにける交通・金融・流通の要所であり、人口は700万人を超え、長期滞在の日本人は約2万人を数えます。

台湾

沖縄から近く、20世紀後半からは急速な経済発展を遂げ、ハイテク産業などにおいて国際的な企業も生まれています。

海外短期インターンシップ

海外短期インターンシップとは、県内の大学生、専門学校生、高等専門学校生などの学生を中心に、9泊10日の予定で海外の企業等にて、就業体験や会社訪問等を行うプログラムです。
その中には、現地の学生との交流や日系企業経営者との懇談会などアジアを体感できる多彩なプログラムがあります。
平成24～29年度までの参加者は、実に722名にのぼり、帰国後は、その経験を糧に自分の夢や目標に向かい新たなスタートを切っています。

●主な派遣先（実績）

■台湾
製造・貿易（中国語）
○東呉大学、旅行社、行政、県人会、ＩＴ企業、コンサル業、県人会。

■香港
金融・物流ハブ（英語・広東語）
○香港理工大学、マーケティング会社、金融保険業、飲食業、行政。

■ベトナム（ホーチミン）
商業都市（ベトナム語）
○ホーチミン師範大学、幼稚園、孤児院、不動産業、コンサル、貿易業、県人会。

■ベトナム（ダナン）
観光都市（ベトナム語）
○ダナン外国語大学、旅行業、ホテル業、レンタカー業、製造業、ＩＴ業。

■マレーシア
製造、ＩＴ、多民族国家（マレー語、英語）
○日本語学校、サービス業、製造業、人材紹介ＩＴ企業、コンサル業、出版、県人会。

■シンガポール
金融、貿易、交通ハブ（中国語、英語）
○南洋理工大学、マーケティング会社、物流、ＩＴ業、飲食業、行政、県人会。

照屋さん
琉球大学
観光産業科学部　１年次
派遣先　台湾

『海外で働くこと！』

この研修では、「５つの分野」で、大きな学びと成長がありました。
1. 台湾の文化や台湾人の特徴をつかめた。
2. 沖縄や日本を外の視点から客観的にみられるようになった。
3. 社会人としての意識や考え方を持てるようになった。
4. チーム行動を通してメンバーと素晴らしい関係を築けた。
5. 人として成長できたこと。

多くの研修と体験を終えて、私自身、働くのに沖縄や日本である必要はないという気持ちが大きくなりました。私は１年生なので、これからさらに言語力を磨き「実際に海外で働くことも視野に入れて考えてみたい。」

徳田さん
琉球大学
法文学部　2年次
派遣先　シンガポール

『一生の仲間との出会い＆仕事や人生を楽しむこと』

海外研修では、各企業の方のお話を聞いて、自分の将来や生き方についての価値観が変わった。

お話を聞いた方に共通していたのは、「今の自分や現状に満足せず挑戦し、自分の仕事に自信や誇りを持ち、仕事や人生を楽しんでいること」が伝わった。

私は、仕事は辛いものというマイナスのイメージがあった。しかし、仕事が生きがいになるという考えにふれて、私もそのように生きがいを持てる仕事を見つけたいという気持ちになった。

最後に「共に学んだチームのメンバーは、これからも一生付き合っていける仲間なので大切にしていきたい。」

當眞さん
琉球大学
理学部　１年次
派遣先　ベトナム（ホーチミン）

『意識の変化』

研修前の意識は、
1. 海外で仕事をすることをちゃんと考えたことがない。
2. 数学の教員が本当にやりたいのかわからない。
3. やりたい、と思えることが少ない。

研修後の意識は、
1. 海外で仕事をする選択もありだなと感じた。
2. 教育に関わる仕事に就きたいという意識が固まった。
3. 大学生のうちに、やりたいと思えることがたくさんできた。

この研修に参加して本当に意識が変化した。「現在、何をやりたいのかわからない方、迷っている方に強く勧めたい。」

長田さん
琉球大学
法文学部　2年次
派遣先　マレーシア

『人との出会いから』

私は、研修を通して、いろいろな人と出会い「相手を知ること、尊重すること」の大切さを学びました。マレーシアは、多民族国家で様々な宗教の人が共に暮らしていますが、お互いを尊重し理解しているから国が成り立っている。

また、「出会った人の数だけ、いろいろな生き方があること」を知りました。私はこれまで、県外就職や海外就職など自分とは遠いものとして捉えていましたが、今回の研修で選択肢を広げ、もっと広い世界を見てみたいと思うようになりました。

これからは、好奇心を持っていろいろなことにチャレンジしていきたいと思います。

久高さん
琉球大学
理学部　１年次
派遣先　ベトナム（ダナン）

『ダナンに負けないくらい成長したい！』

この研修では、「❶夢は誰でも実現できる。❷自分の得意な分野を１つ持つ。❸「やる気」と「意欲」が大切だと学んだ。

ダナンの学生は、英語や日本語でも会話できる。しかし彼らには日本に行くチャンスがほとんどない。意欲があるのに環境がないという現実を知った。私は、環境に甘えて、「やる気」や「意欲」を出していない事に気づいた。

リーダーを経験して、責任感や積極性が強くなった。「今やるべきこと、やりたいことから逃げず、今後も挑戦していきたい。そして、ダナンに負けないくらい成長したい。」

金城さん
沖縄国際大学
総合文化学部　2年次
派遣先　ベトナム（ホーチミン）

『自分の成長にとって必要か必要でないか』

事前研修は、コミュニケーションスキルや自己分析を行い、自分の適性を理解する上で、とても重要な内容でした。

ベトナム（ホーチミン）では、見るものすべてが新鮮で、今までの生活が窮屈すぎるくらいに、多文化にあふれていて解放的でした。研修を終えて、物事の選択を「好きか嫌いか」ではなく「自分の成長にとって必要か必要でないか」という基準で判断し行動できるようになりました。

今後、ボランティア活動の役員に立候補し、いろんなイベントに参加することで知識を増やし、自己成長のために挑戦していきたいです。

中山さん

沖縄国際大学
総合文化学部　2年次
派遣先　シンガポール

『自分らしく生きるという自分軸』

海外で輝き働いている方は、皆さん自分の「目標を持ち、失敗を恐れずにチャレンジ」していた。私はそれに気づいた時、今の自分が恥ずかしくなった。目標もなくただ漠然と過ごしている日々がもったいなく、自分から何か行動を起こしチャレンジすることが大切なんだと痛感した。

私は、この研修を通して「海外就職を目標に、英語プラス専門的な知識を身につけたい」と思った。今後、「自分らしく生きるという自分軸」を持ち、これからの自分がどう変化していくのか楽しみだ。海外インターンシップに参加することができて本当に良かった。

安里さん

沖縄国際大学
産業情報学部　1年次
派遣先　ベトナム（ホーチミン）

『知的欲求と広がる世界、出会いとともに変わる自分』

この研修では、以下の３つのことを学びました。１つ目は「仲間の大切さ」です。研修中の様々な課題をチームのメンバーと協力して解決した事が沢山あったからです。２つ目は「行動力」です。「今、あなたがここにいるのはあなたが動いた結果、悩んでいるなら動けばいいんだよ」ということを学んだからです。３つ目は「熱意」です。海外で働いている方や現地の学生は、目標に向かって努力する強い決意が感じられた。最後にこの研修を終え、これから「自身の成長のため専門分野を磨き、人との出会いを大切に、今の自分に満足しない生き方を決意した。」

安谷屋さん

沖縄大学
法経学部　1年次
派遣先　ベトナム（ホーチミン）

『自分の成長感を持つ』

この研修への参加前は、学校で授業を受けているだけで全く成長感がなかった。大学の講義で海外短期インターンの事を知り参加を決意した。

海外では「挑戦をすること、人生設計を立てること、行動しないと何も変わらないこと、今なにをしたいかを明確にすること、継続する事の大切さ」など多くのことを学んだ。

研修後は、会話の幅が広がり、コミュニケーション力がついてきた。また、人の話を聞く姿勢や相手に伝わりやすいように話そうと意識するようになり、以前よりも考え方や視点が大きく変わり、「自分の成長感」を持てるようになった。

宮里さん

沖縄大学
法経学部　1年次
派遣先　香港

『香港に行って変わったこと』

今回の研修を終え、自分の中で変わったことが２つあります。

一つ目は、職業に対する考えです。研修前は、「安定している公務員」を目指していたのですが、香港で活躍されている経営者の方々は、自分の中に限界を作らず、挑戦していて「すごくかっこいい！」と思いました。

二つ目は、自分が知らないことに対して、「自分から積極的に挑戦したい！」と思うようになりました。

今回、海外インターンシップに参加してたくさんのことを学びました。これからの学生生活、そして社会人になっても忘れずに頑張っていきたいと思います。

長濱さん

名桜大学
国際学群　2年次
派遣先　シンガポール

『自分が今できることをする!』

海外で働く日本人の方々は、十人十色、みんな価値観が違い、英語を話せなくても海外へ進出していた。挑戦する時に大事なことは「とりあえずやってみる」、「失敗しても良い」、「できると思えばできる」という考え方だった。

今回の研修では、「自分一人では何もできないからこそ、周りを頼り、自分が今できることをする」ということを学んだ。

仲間同士で足りないところを相補うことで、バランスが取れることに気づいた。

「意志あるところに道は拓ける」という言葉を心に刻み、「世界で求められる人財になりたい。」

新垣さん

名桜大学
国際学群　2年次
派遣先　香港

『視点を沖縄からアジアへ』

海外研修で学んだことは、「百聞は一見にしかず」の大切さである。「ネットの情報だけに頼っているより、まずは自分で試してみたり体験するほうが、将来の成功への道に繋がる。」

実際に世界に足を運んで自分の五感で様々なことを感じて、いろんなことを経験することが大切であると感じた。

研修前は、アメリカやカナダに興味はあったが、今回、香港で働いている人の話や雰囲気を実際に感じたことで、「日本と近いアジアに目を向けることも面白いのではないか」と感じるようになった。

与那嶺さん

沖縄キリスト教短期大学
英語科　1年次
派遣先　ベトナム（ホーチミン）

『人は人によって磨かれる!』

海外の経営者からは、「未来は今が急速に発展してるから何が起こるかもわからない、今はない仕事が将来はあるかもしれない。今やるべきことは、目の前にあることを一生懸命に取り組むことだ！」、「将来活躍していくには多くの財産がいる。その財産というものは、知識、経験、人脈を蓄積して作り上げる。その蓄積してできた財産が、将来の自分を助けてくれる」など多くの言葉をいただいた。

彼らは自分の好きなことを仕事にして輝いていた。素晴らしい人達と出会えた。「人は人によって磨かれ、人との出会いで人生が変る」ことを実感した。

安里さん

沖縄女子短期大学
総合ビジネス学科　1年次
派遣先　台湾

『無知の知 』

この研修を終えて、これから以下の２つを実行します。

１つ目は、台湾の人に負けないくらい「自国の知識や語学力を身に付けます。」

２つ目は、研修前は、親や先生に「勉強しなさい！」とよく言われていましたが、研修後は、「せっかく勉強できる環境があるのに、勉強しないと自分が損する！」と思えるようになりました。ソクラテスの「無知の知（自らの無知を自覚することが真の認識に至る道であること）」を知ったおかげです。

今後は、気持ちを切り替えて授業を受け、資格等にもたくさんチャレンジしていきたいと思います。

上野さん

沖縄県立芸術大学
美術工芸学部　3年次

派遣先　香港

『将来、ニューヨークで個展を開催したい!』

今回の研修で実際に香港に足を運んでみたことで、「何かチャンスがある場所に身を置くことの重要性」を感じました。

香港では、AI（人工知能）の発展で人間の仕事がどんどん奪われていき、将来「AI対人」ではなく「AIを使える人対AIを使えない人」の戦いになるという話を聞きましたが、その通りかもしれません。「芸術の世界でも、すでにAIが絵を描いたり音楽を奏でたり」しています。

今回の香港滞在で、沖縄にいるだけでは学べない多くのことを学ぶことができました。今回の経験を生かして、さらに邁進し、将来は、「ニューヨークで個展を開催できるアーティストを目指して頑張りたい。」

小和口さん

沖縄情報経理専門学校
総合ライセンス科　2年次

派遣先　マレーシア

『将来、マレ-シアで起業してみたい!』

マレーシアは、ASEAN諸国の中で富裕層の割合が20%と高く、地理的には、4時間圏内の飛行時間で東南アジアを網羅できる。東南アジアのハブとして、市場開拓ができる可能性を感じた。また、マレーシアで話しかけた人全員が英語が話せて、アジアでは稀なことでビジネスチャンスのある国だと感じた。

今回の職場体験の課題調査を通して、「マレーシアは、東南アジアへの新規事業の展開やスタートアップの場所としては最適である」と感じることができた。「将来は、ぜひマレーシアで起業してみたい。」

海外短期インターンシップ Q & A

Q1 海外短期インターンに参加した学生の動機は何ですか？

A1
❶視野を広げたい。
❷コミュニケーション能力を上げたい。
❸大学、バイト、家の繰り返しで、学生生活を充実させたい。
❹将来何をしていいのかわからない、今の不安を解決したい。
❺人間関係や友達をつくるのが苦手なので改善したい。

Q2 海外短期インターンに参加後、何か変わったのでしょうか？

A2
❶研修生の声としては、海外で様々な体験をすることで、五感を通して視野が広がった。
❷インプットやアウトプットの機会が多く、コミュニケーション能力が向上した。
❸多様な価値観や生き方をする人と出会い、自分もやりたいことが増えてきた。
❹学生交流、会社訪問、職場体験を通して自分の進路のヒントが得られた。
❺チーム活動や多くの人と接することで、人間関係の構築等自信がついた。

Q3 海外短期インターンでは、どのように派遣国のチーム分けをするのですか？

A3
❶研修生には、エントリー時に、希望国を取っております。
❷チームは、男女バランス、大学バランスをみながら6名単位で編成します。
❸チームリーダー及びサブリーダーは、チームメンバーにより選定します。
❹チーム研修を通して、「一生の仲間」になることも期待できます。

Q4 はじめての海外で英語もできないのですが参加できますか？

A4
❶原則、海外の研修先や学生交流は、日本語ができる環境で行います。
❷海外研修は、個人ではなくチームで活動するので安心です。
❸海外では、日本語のできる現地担当者が研修生をサポートします。
❹事務局からチームへ携帯電話やWifiルーターを支給するので安心です。

海外中期インターンシップ

海外中期インターンシップとは、県内の大学生、短期大学生、専門学校生、高等専門学校生などの学生を中心に、1ヶ月の予定で海外の企業にて、就業体験をするプログラムです。
平成28・29年度は、24名の学生が参加しました。

●主な派遣先（実績）

■台湾
製造・貿易（中国語）
○旅行業、行政。

■ベトナム（ホーチミン）
商業都市（ベトナム語）
○幼稚園、日本語学校、不動産業、スポーツクラブ。

■マレーシア
製造、ＩＴ、多民族国家（マレー語、英語）
○ランゲージセンター、出版業、ビザ代行業、飲食系コンサル業。

■香港
金融・物流ハブ（英語・広東語）
○旅行業、行政。

■ベトナム（ダナン）
観光都市（ベトナム語）
○旅行業。

■シンガポール
金融、貿易、交通ハブ（中国語、英語）
○出版、イベント業、飲食業、行政。

国吉さん

琉球大学
法文学部　　3年次

派遣先　シンガポール
研修先　行政機関

『充実した一ヶ月』

私は沖縄県シンガポール事務所にて、中期インターンシップを行いました。主に沖縄県のPR活動、観光の誘客や県産品の販路拡大などに取り組みました。

今回の研修で培った経験や様々な人との出会い（名刺100枚以上）で広がった視野を上手に活用しながら、今後の人生に役立てていきたいです。また、海外研修で「海外就職に対する自身のハードルが下がり、自信が持てたことも大きな収穫でした。」

最後にインターンシップを考えている方は、海外中期インターンシップに参加して「充実した一ヶ月」にしてみませんか。

金城さん

琉球大学
理学部　3年次

派遣先　マレーシア
研修先　総合メディア（フリーペーパー）

『自分の将来の可能性は無限大』

マレーシアの研修先では、「ビジネスマナー（挨拶、身だしなみ、言葉遣い、報連相など）や仕事の責任感、チームワーク、コミュニケーション力や課題解決力」など、学んだことは計り知れないくらい多くあります。

研修先のスタッフ等からは、現在の仕事や将来に対する考え方を聞く中で、自分の進路やなりたい職業について、いろいろ考えさせられました。

「自分の将来の可能性は無限大、自分次第でどんな形にでも変えられる。この貴重な体験をここで終わらせることなく、次のステップへこれからの自分の成長に役立てていきたい。」

真田さん

琉球大学
工学部　3年次

派遣先　マレーシア
研修先　コンサルタント・イベント

『自分の将来に向き合う研修』

私は、当初仕事が思うようにできず、焦りや劣等感から自身を損失した。しかし、全然知らないマレーシア人たちとサッカーを楽しむことが出来たことがきっかけで、その行動力と好奇心は、私の武器だと思えるようになった。

その後は、苦手意識を持った仕事に対し、積極的に行動するようになり、「私自身の武器とは何か」、「周りに比べてどうなのか」、「今後どうしていきたいのか」など、いろいろ考えることで、思考を深めることができた。

今後、AIやIT技術を学び、医療機器の開発に関わっていきたいと考えている。「自分の将来に向き合う研修であった。」

村吉さん

琉球大学
教育学部　3年次

派遣先　ベトナム（ホーチミン）
研修先　日本語センター

『将来の生き方と向き合う!』

私は、大学で学んだ日本語教育の現場を知りたいと思いこの研修に参加した。

ベトナムでは、起業した人、日本で就職し海外に派遣された人、ベトナムの企業に就職した人など、多様な人が働いており、「自分の生き方を見つければ海外でも日本でも、働く職種は自ずと見えてくるものだ」と感じられた。

今回の研修では、「海外で生活することや働くことの面白さを体験すると同時に、自分の力のなさや将来の生き方と向き合っていないことも思い知らされた。」

今後、何をすべきか分かってきたので、とても有意義で価値のある体験であった。

具志さん

沖縄国際大学
産業情報学部　3年次

派遣先　ベトナム（ハノイ）
研修先　スポーツクラブ

『ベトナムで見えた自分の課題と今後の取り組み』

現地サポーターとの面談では「誰かの為に仕事を頑張りなさい」というアドバイスを頂きました。それは「上司からの信頼を掴み取り、顧客の満足度を満たすと、結果的に自分が会社から必要にされる人間になれる」という事でした。

今回の研修を通して、自分の強み（素直）と、弱み（伝える力が弱い）に気づくことができました。

今後、課題克服の為には、本や新聞を読み、深く考えることを身につける必要性を感じました。今回の中期インターンシップの経験を活かし「常に自己反省を行い、課題を見つけ、計画的に改善する力を身につけ、これからの就活に生かしていきたい。」

西平さん

沖縄国際大学
法学部　3年次

派遣先　香港
研修先　行政機関

『将来、沖縄の強みや利点を生かしたビジネスを!』

今回の中期インターンシップでは「自分の殻を破れただけではなく、自分に自信が持てるようになりました。」

将来は「沖縄の強みや利点を活かしたビジネスをして利益を生み出したい」と考えています。その為には、20代はいろいろ挑戦して、必要なスキルを身につけたいと考えています。

また、一つの仕事や業種にこだわらずに常に向上心を持って、仕事を楽しむ事の大切さを学びました。

香港では、「１日１日が濃く有意義な時間を送れた事で、時間の大切さにも気づけました。」沖縄に戻ってからも、「1日を無駄にしないように努力していきたい。」

山田さん

名桜大学
国際学群　3年次

派遣先　シンガポール
研修先　フリーマガジン・イベント

『海外で働くうえで大切なこと』

「海外で働くうえで大切なことを三つ」学ぶことができました。

一つ目は、「誰とでも親密になれるコミュニケーション力」の大切さです。二つ目は、業務遂行上の「目標設定と計画性」です。

三つ目は、「ビジネスで通用する語学力」です。よりハイレベルな語学力を習得し、海外でビジネスをするにあたって必須だと感じました。

中期インターンシップは、「事前研修から発表会まで充実した内容で、とても良い経験をさせていただきました。」今回、学んだことを自分自身の強みとし、これからの学生生活や就活に活かしていきたいと思います。ありがとうございました。

島袋さん

名桜大学
国際学群　3年次

派遣先　マレーシア
研修先　ランゲージ・センター

『海外で働いてみたい!』

私は日本語教師という職業や海外で働くことに興味があり、マレーシアの日本語学校にてインターンシップを行いました。

業務内容は、「掲示物の作成、イベントの企画（百人一首大会）、カンパニーレッスンへの同行、ホームページ改善提案書の作成、1時間の授業の担当」など多くの体験をさせていただきました。

研修後は、「海外で働きたい、20代のうちに2か国は回りたい」と思うようになりました。この研修で学んだことを今後の学習や未来設計に活かしていきたいと思います。貴重な体験をさせていただいたことに本当に感謝しています。

海外中期インターンシップ Q & A

Q1 海外中期インターンに参加した学生の動機は何ですか？

A1
❶海外で働くことを経験し、自分の知識や視野を広げたい。
❷3年生になったので、具体的な将来像を描きたい。
❸大学で学んでいることが、海外で通用するのか確認したい。
❹英語でのコミュニケーション能力や社会人基礎力を向上したい。
❺就職活動をする上で、今の自分に足りないことは何なのかを知りたい。

Q2 海外中期インターンに参加後、何か変わったのでしょうか？

A2
❶研修生の声として、海外就職に対する自身のハードルが下がった。
❷自己の課題を見つけ、計画的に改善する力を身につけることができた。
❸自分の生き方を見つければ、働く職種は自ずと見えてくることに気付いた。
❹ビジネスマナー、仕事の責任感、チームワーク、課題解決力多くを学んだ。
❺自分の殻を破れただけではなく、自分に自信が持てるようになった。

Q3 海外中期インターン先企業の選定は、どのように決めるのですか？

A3
❶研修生の希望職種などを聞いて、事務局にて受入先企業を提案します。
❷受入先企業に履歴書を送付し、スカイプ面談後に最終決定します。

Q4 海外に行くまでのプロセスを教えてくれますか？

A4
❶受入企業決定後、研修期間を決定し、ビザ手配等を事務局で支援します。
❷受入企業や現地サポーターと調整し、宿泊先を事務局で手配します。
❸研修生が航空券を手配後、海外旅行保険の手続きを事務局で手配します。
❹事前研修において、海外渡航の注意事項等を行います。
❺詳細については、事業説明会にて資料を配布します。

Q5 今までの研修生は、海外に一人で行く不安はなかったですか？

A5
❶海外では、日本語のできる現地担当者が研修生をサポートします。
❷海外渡航後、最初に現地サポーターとの面談を行います。
❸海外での個人行動が苦手な方は、チーム研修を行う短期をお勧めします。